２０２０年度　競技規則修改正理解度テスト

　　　　　　　　　　　　　　　　所属陸協　　　　　　　　　　　　氏名

次の文章を読んで、ﾙｰﾙﾌﾞｯｸの第何条、何項に記載されているかを確認し、正しいものには〇、間違って

いるものには×をつけなさい。（北海道関連問題は、ﾙｰﾙﾌﾞｯｸには記載されていません。）

第１問　国際競技会はＩＡＡＦ競技規則に基づいて行われなければならない。あらゆる競技会において、ＩＡＡＦ競技規則による方式によらないで競技を実施することができる。　　　　　　 （　　　）

第２問　混成競技審判長は、スタート審判長が任命されている場合はその所管する事項を除き、混成競技

および混成競技における各競技の運営を管轄する。　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第３問　計測員（科学）は、計測装置が正しく作動することを確認するために、その競技種目の開始前に、

審判長の監督の下で複数の審判員による検査済の鋼鉄製巻尺の測定結果と、一致するよう一連の計

測を管理する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第４問　アスリートビブス（ビブス）は、配布された形で着用しなければならず、切ったり折り畳んだり

あるいはいかなる方法でも見えなくしてはならない。長距離種目においては、風通しをよくするた

めに、アスリートビブス（ビブス）に穴をあけてもよいが、文字や数字の部分に穴があってはなら

ない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第５問　アスリートビブス（ビブス）の上部の広告（スポンサー名）は、縦６cm以内、横２４cm以内と

する。下部の大会名は、縦４cm以内とする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （　　　）

第６問　競技場内で行う５０００ｍ以上の競技で、男女いずれかまたは男女ともに男女別に競技を実施す

るのに十分な人数がそろわず、男女別々での実施が非効率的である場合。こうした競技では、いか

なる場合でも、他の性別の競技者がペースメイクをしたり、助力をしたりするような行為は許され

ない。〔国内〕男女のいずれかが８名以内で男女の合計が３０名以内の場合にのみ、混合で実施する

ことを認める。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第７問　４００mまでのレースでは、両手と少なくとも片膝がグランドに、両足はスターティング・ブロ

ックと接触していなければならない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第８問　スタートの開始とは以下のように定義される。クラウチング・スタートの場合、結果的にスター

ティング・ブロックのフットプレートから片足または両足が離れようとしている、あるいは地面か

ら片手または両手が離れようとしている動作をいう。　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第９問　立位（スタンディング・ポジション）でスタートする競技者の方がバランスを崩しやすいため、

偶発的に動いてしまったと考えられる場合、そのスタートは｢ふらつき｣と見なされ不正スタートの

対象として扱われる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （　　　）

第１０問 国体等で行われるハードル競技は、次の規定によって実施する。　　　　　　　　　　　（　　　）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 距離 | 高さ | ｽﾀｰﾄ~1台目 | ﾊｰﾄﾞﾙ間 | 最後~ﾌｨﾆｯｼｭ |
| 男子JH | 110m | 0.991m | 13.72m | 9.41m | 14.02m |
| 男子YH | 110m | 0.991m | 13.00m | 9.14m | 16.02m |
| 女子YH | 100m | 0.762m | 13.00m | 8.00m | 15.00m |

第１１問　ハードル競技において、手や体、振り上げた脚の上側で、いずれかのハードルを倒すか移動させ

たときは失格となる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　 　）

第１２問 バトンパスが開始されバトンパスが完了していない状態で、バトンを落とした場合には、バトン

は渡し手（前走者）が拾わなくてはならない。バトンパスが完了し、受け手（後走者）が、唯一の

保持者となった後にバトンを落としたら、受け手が拾わなくてはならない。　　　　　（　 　）

第１３問 水平跳躍の粘土板は、砂場に近い踏切板の縁の窪みに埋める。その表面は、踏切板の水平面から

7mm（±1mm）盛り上がっていなければならない。粘土板は、粘土を埋めた時は助走路に近い縁が

90度の角度となるように隅を削り取る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （　　　）

第１４問　投てき種目では、技術総務が特に決めない限り、投てき種目に出場する競技者はどの種目であっ

ても２個まで個人所有の投てき物の使用（持込み）が認められる。 　　　　　　　　　　　（　　　）

第１５問　円盤投用囲いとして、ハンマー投げで使用する可動パネルを、危険区域を制限するために、使用

することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第１６問 男子十種競技は10種目からなり、連続する48時間以内で、次の順序で行う。　　　（　　　）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 競　技　種　目 |
| 第1日目 | １１０ｍH、走り幅跳び、砲丸投げ、走り高跳び、４００m |
| 第２日目 | １００m、円盤投げ、棒高跳び、やり投げ、１５００ｍ　 |

第１７問 競歩競技の日本記録は、少なくとも一人のJRWJ（日本陸連競歩審判員）は競歩審判員として、競技中の歩行の判定を行い、日本記録申請書に署名しなければならない。　　　　　　　　（　　　）

第１８問　競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなけ

　　　　ればならない。 〔国内〕同一日につぎのラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表され

　　　　てから20分以内に申し出なければ、何ら問題はなかったものとみなされる。　　　　　　　（　　　）

【北海道関連問題】

第１９問 北海道陸上競技協会の公認審判員数は1.437人です。総数を都道府県順にすると第五位である。

（　　　）

第２０問 北海道陸上競技協会の公認審判員数の級別割合は、Ｓ級10.6％、Ａ級20.2％、

Ｂ級69.2％です。女性審判員は総計255人で17.7％です。　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

第２１問 2019年度北海道陸上競技協会の公認競技会の記録公認申請は１００％です。全国で達成されているのは、４７都道府県中で９つしかなく、北海道はその中の一つである。　　　　　　　（　　　）

第２２問　北海道全域に、公認陸上競技場として登録している競技場は、全部で２７カ所におよぶ。競技場

の数は、東京に続き第２位の数である。しかし、全天候競技場となっていない競技場が、９カ所と

全国第1位である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　）

【まとめ】いかがでしたか。競技規則変更に伴うものを中心に作成しました。また、北海道の公認審判員の現状も知っていただければ幸いです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。